

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第1部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見に対する確認・検討結果の一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見（概要）	市の検討結果
1	—	全般	市民の幸せを実現するために、九つのまちづくり政策を進めることになるため、それぞれのまちづくり政策との関わりを含めて、視覚的に表現してはどうか。	まちづくりの基本的な考えには、市民とともに取り組む協働の理念があり、これに基づいて策定する総合計画の「めざすまちの姿」や、これを実現するための「まちづくり政策」によって、まちづくりの方向性を示すものであります。 以上のように、あらゆる取組は一体的に進めていくことから、それぞれが深く関わり、連携しながら進めていくことについて、総合計画の冊子では、デザインを工夫し、表現することとします。
2	—	全般	それぞれのまちづくり政策が、他の政策と関連していることについて記載してはどうか。	
3	P 1	0 1 自然・環境 (1) - ②	江別市の魅力を広く伝えるために、野幌森林公園などの魅力ある江別市特有のものを、まちづくり政策にも記載してはどうか。	江別市の強みや特徴をPRすることは重要だと認識しているため、総合計画の冊子に掲載予定の「江別市の概要」や「あゆみ」をはじめ、江別市の現状を紹介する中で示すこととします。
4	P 2	0 1 自然・環境 (2) - ①	江別市は、フードロスや食物残さの減少にも取り組んでいることから、まちづくり政策に記載してはどうか。	担当部局と協議の結果、ご意見の趣旨を踏まえて、まちづくり政策に反映することとしました。
5	P 7	0 4 安全・安心 (2) - ②、③	江別市には、北海道消防学校があることから、地域資源の一つとして、防災の分野でもっと連携しても良いのではないかと。	防災の分野では、現時点において、特段の連携は行っていないことを確認しましたが、消防では、学生の教育訓練に支障のない範囲で施設を借用して訓練するなどの連携を図っているとのことであります。
6	P 1 0	0 5 都市生活 (2)	江別市の道路交通網は、既に充実していることから、交通の利便性の良さを記載してはどうか。	江別市の強みや特徴をPRすることは重要だと認識しているため、総合計画の冊子に掲載予定の「江別市の概要」や「あゆみ」をはじめ、江別市の現状を紹介する中で示すこととします。

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第1部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見	意見の趣旨
1	-	全般	まちづくり政策における九つの政策の中心には住民がおり、住民の幸せを実現するための施策がまちづくり政策であることを視覚的に表現できないか。	市民の幸せを実現するために、九つのまちづくり政策を進めることになるため、それぞれのまちづくり政策との関連性を分かりやすく表現されたい。
2			まちづくり政策全般について、各政策が他の政策とどのように関連しているかを記載しておくこと、連携関係が明確になって、より理解しやすいものになるのではないか。	
3			まちづくり政策間のつながりを表現する際に、SDGsのアイコンのように、関連する政策のマークなどを記載することも検討してみてもどうか。	
4	P1	O1 自然・環境 (1) -①	地球温暖化対策に関しては様々な情報が出ているので、自分ができる取組を選んでいくことが重要。必要なこと、大事なことは、一人ひとりで異なるので、たくさんある取組の中から選んで実践していくことが重要であると思う。	「脱炭素社会の実現」について、一人ひとりが正しい知識を身につけ、できることから実践することが重要であるため、地球環境にやさしい取組などの情報提供や市民参加による議論の機会を提供されたい。
5			脱炭素社会の実現や、温室効果ガス排出ゼロという、個人には大きなテーマであっても、ワークショップなどに参加することで、自分でもできることがあると知ることができた。議論する場があると、様々な取組も身近に感じるため、ワークショップなど、地球温暖化対策について議論や話す場があると良い。	
6			今後、高齢化が進む中で、電気スクーターなど、他の地域で実証実験を行っているような取組を市として実施すると、生活が豊かになるほか、先立って行うことで、まちのPRにつながるため、積極的に取り組んでほしい。	
				「脱炭素社会の実現」について、今後、高齢化がさらに進むことによって生じる課題と関連付け、自然環境にやさしい交通手段の研究など先進的な取組を検討されたい。

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第1部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見	意見の趣旨
7	P 1	01 自然・環境 (1) - ②	江別市には野幌森林公園のような豊かな自然があるため、もっと多くの市民に知ってもらえるようにしてはどうか。子どもたちも野幌森林公園などに教育の場で行くこともあるかもしれないが、利用者の多くは高齢者だと思う。バードウォッチングや家族連れの方もいるが、一部だと思う。これだけ豊かな自然があるのに、江別市民があまり認識していないのではないかと思う。	「水と緑の保全」について、江別市には野幌森林公園などの豊かな自然があることから、多くの方に利用され、自然を守り生かしていく機運が醸成されるよう、市内外への積極的な情報発信に努められたい。
8	P 1	01 自然・環境 (1) - ④	全国的に農地に太陽光発電設備を設置するケースが増えている。太陽光パネルは耐用年数もあるので、10年、20年経って、太陽光パネルが使えなくなった時に、その下の農地が果たして生きているのか不安である。土地自体が、不耕作地、放棄地になってしまう可能性もあるため、闇雲に農地に設置するような形での再生可能エネルギー導入の推進は危険であるので、留意願いたい。	「再生可能エネルギーの導入拡大と利用推進」について、江別市に適した再生可能エネルギーを導入するための議論が重要であり、大規模な太陽光発電設備を設置する場合には、農地をはじめとする自然環境の保全に留意しながら進められたい。
9	P 3	02 産業 (1)	人手不足が進むことで、生産効率を求めるあまり、多様な農産物を生産する農家が減少してしまうという危険性があると感じている。経営規模の拡大だけではなく、今いる生産者が生涯現役で農業を続けてもらい、幅広い世代で農業を続けていかないと、持続が難しい産業になると感じている。	「都市近郊型農業の推進」について、経営規模の拡大や、収益性の高い農産物の生産などに加えて、生涯現役で農業を営めるよう、多様な農産物の生産に取り組むための支援を行うほか、道央圏に位置する優位性を生かした取組を検討されたい。
10			農産物は、すぐ近くに札幌市があり、レストランに納入することもできるため、都市近郊型農業の強みを感じていることから、今後の取組に期待したい。	
11	P 3	02 産業 (1) - ①	離農が多くなり、農業が基幹産業である過疎が進んでいる地域と比べると、江別市は今でも人口がいることが大きなポイントになっているのかもしれないが、江別市役所の職員に危機感を持って取り組んでいただきたい。	「農業経営の安定化」について、農業経営は、担い手不足や物価・燃料費の高騰などにより、厳しい状況にあることから、持続可能な農業となるよう、一層の危機感を持って主体的に取り組まれたい。

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第1部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見	意見の趣旨
12	P 3	02 産業 (1) - ②	農家は、やはり農家として生計を維持していけるかが最も重要である。農家への補助もあるが、それだけではなく、地元の食材を我々がどうやって食べていくのかも大事なことだと思う。安い物を買いたくなるが、地元の安全なおいしい食材を食べていくことは、農家の努力というより、我々消費者の意識改革もしていかなければならない部分で、重要だと思う。	「地産地消の推進」について、生産者である農業者だけではなく、消費者にとっても地産地消の意識と取組が重要であるため、市民が農業と触れ合う機会の提供をはじめ、生産者と消費者を結び付ける取組を検討されたい。
13			道央の都市圏にありながら、他市に勝る魅力は、やはり自然ではないかと思う。江別市にも、クライנגルテンのようなところがあれば、市外からも利用者が集まり、健康増進と観光振興も図られるのではないか。	「持続可能な農村環境づくり」について、農業が盛んな江別市において、市民が農業をもっと身近に感じることができるとまちづくりをさらに進めながら、健康や観光などの様々な分野と連携する取組を検討されたい。
14	P 3	02 産業 (1) - ③	スマート農業は、既に若い世代を中心に動き出している。いわゆる自動操舵、GPSを用いて、トラクターを自動で走行することもできるようになっている。導入コストが高額であるため、ある程度の面積がなければ採算が取れないが、テクノロジーがより広がって、導入費用が下がれば、もっと取り入れられていくと思う。農薬などもトラックよりドローンで散布する方が、脱炭素社会の実現にも貢献するのではないか。	「持続可能な農村環境づくり」について、デジタル技術を活用したスマート農業は、導入費用が高額で普及が進まない状況にあるが、生産性の向上や省力化のみならず、脱炭素社会の実現にもつながる取組であることから、普及に向けた支援について検討されたい。
15	P 7	04 安全・安心 (2) - ②	防災意識の向上がもっと進むと良いと思う。日常生活での経済活動や行動が、備蓄など、実は防災につながっているということを意識啓発すると良いのではないか。防災を身近に感じて進められる取組や、こんなことでも防災につながっているということを、多くの市民に知らせて意識してもらおう取組などが良いのではないか。	「防災意識の向上」について、日常生活における何気ない行動が、防災や減災につながっていることなど、身近な取組や心掛けなどの情報提供に努めるとともに、誰一人取り残さないよう、あらゆる手段を用いた情報発信に取り組まれたい。
16			防災情報について、今後はSNSなどを活用して、災害時には地区ごとに情報発信するなど、きめ細かな情報提供が求められると思われる。	
17	P 10	05 都市生活 (2) - ③	報道で、無人バスを導入しているまちが紹介されていた。無人バスを導入することで、企業の誘致につながる可能性もあるため、様々な取組を検討されたい。	「公共交通ネットワークの最適化と利用促進」について、市民の利便性の向上や企業誘致などにつながることを期待されるため、無人運転や既に実施しているデマンド型交通など、デジタル技術を活用しながら、江別市の特徴を生かした先進的な取組を検討されたい。

○ 第1回江別市行政審議会専門部会（第1部会）での審議事項 「まちづくり政策」への意見一覧

No.	資料3 対応 ページ	まちづくり政策	委員の意見	意見の趣旨
18	P 1 0	05 都市生活 (3) - ①	情報発信する際に、デジタル技術をうまく使えないだろうか。いろいろな過去の記録をデジタル上に残して、見える化していくことで、歴史と観光をつなぐことができるのではないか。	「デジタル技術の活用」について、暮らしを豊かにするための取組のほか、江別市の歴史や文化をデジタル技術を用いて分かりやすく情報発信することにより、観光振興や生涯学習に活用することを検討されたい。
19			歴史的なところをデジタルで見られる、バーチャルで見られるようにしてはどうか。歴史・文化に関することは、デジタル化して後世に伝えていく余地はまだある。	
20			デジタル化の推進について、大学などでもオンライン授業が取り入れられてきているので、健康都市宣言をしている江別市で、オンライン診療やオンライン処方取組を進めてほしい。	「デジタル技術の活用」について、どこにいても、効率的で効果的に様々なサービスを利用することができるよう、地域活動をはじめ、行政における各種手続きや、医療分野などにおいても、デジタル技術の活用により、市民の日常生活の利便性が高まる取組を検討されたい。
21			公民館を使う際、予約をしに行くが、未だに紙ベースである。他の自治体の事例で、公共施設の予約をインターネットでできるところが多かったことから、江別市でも、デジタル技術を用いて、簡単にインターネットで予約できるように取組を進めてほしい。	
22			自治会の回覧板もデジタル化されることで、見たいときに、いつでも見ることができるようになるのではないか。	
23	P 1 2	09 計画推進 (2) - ②	それぞれの政策の中に情報発信、情報提供という文言が記載されているので、情報という文言を横断的に使いながら、一つのテーマにしても良いのではないか。	「広報・情報発信の充実」について、情報発信は、あらゆる取組の基本となることから、全ての政策において重要な事項として位置付けられたい。